

第2編 各教科及び特別活動における評価規準の作成，評価方法の工夫改善

第1章 国語

第1 教科目標，評価の観点及びその趣旨等

1 教科目標

国語を適切に表現し正確に理解する能力を育成し，伝え合う力を高めるとともに，思考力や想像力を養い言語感覚を豊かにし，国語に対する認識を深め国語を尊重する態度を育てる。

2 評価の観点及びその趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語に対する関心を深め，国語を尊重し，進んで表現したり理解したりするとともに，伝え合おうとする。	自分の考えを豊かにしたり深めたりして，目的や場面に応じ，筋道を立てて話したり的確に聞き取ったりする。	自分の考えを豊かにしたり深めたりして，相手や目的に応じ，筋道を立てて適切に文章に書く。	目的に応じて様々な文章を的確に読み取ったり読書に親しんだりする。	表現と理解に役立てるための音声，語句，語彙，文法，漢字等について理解し，知識を身に付けている。書写では，文字を正しく整えて速く書く。

* 観点別学習状況の評価の観点である「関心・意欲・態度」「思考・判断」「技能・表現」「知識・理解」の4観点について，国語科では，新学習指導要領における目標，内容の改訂などを考慮し，「国語への関心・意欲・態度」「話す・聞く能力」「書く能力」「読む能力」「言語についての知識・理解・技能」の上記5観点として設定した。

3 内容のまとまりごとの評価規準の設定

国語科においては，学習指導要領の内容の「A話すこと・聞くこと」，「B書くこと」，「C読むこと」を内容のまとまりとして，これらごとに評価規準を作成した。

〔言語事項〕については，「A話すこと・聞くこと」，「B書くこと」，「C読むこと」の各内容のまとまりの中に関連する事項を含めた。

第2 内容のまとまりごとの評価規準及びその具体例

第1学年

1 学年目標

- (1) 自分の考えを大切にし，目的や場面に応じて的確に話したり聞いたりする能力を高めるとともに，話し言葉を大切にしようとする態度を育てる。
- (2) 必要な材料を基にして自分の考えをまとめ，的確に書き表す能力を高めるとともに，進んで書き表そうとする態度を育てる。
- (3) 様々な種類の文章を読み内容を的確に理解する能力を高めるとともに，読書に親しみものの見方や考え方を広げようとする態度を育てる。

2 第1学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
国語に対する関心をもち，進んで話し合ったり書いたり，読書に親しんだりしようとする。	自分の考えを大切にしたりして，目的や場面に応じ，筋道を立てて話したり話の内容を的確に聞き取ったりする。	必要な材料を基にして自分の考えをまとめ，相手や目的に応じ，叙述の仕方などを確かめて，読みやすく分かりやすい文章を書く。	様々な種類の文章を読み，文章の構成や展開をとらえて内容を的確に理解し，自分のものの見方や考え方を広げる。	音声，語句，語彙，文法，漢字などの国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し，知識を身に付けている。書写では，楷書の書き方と行書の基礎的な書き方を理解し，字形を整え，文字の大きさ，配列・配置に気を付けて書く。

3 学習指導要領の内容，内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

(1) 「A話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため，次の事項について指導する。

ア 自分の考えや気持ちを相手に理解してもらえるように話したり，話し手の意図を考えながら話の内容を聞き取ったりすること。

イ 自分の考えや気持ちを的確に話すためにふさわしい話題を選び出すこと。

ウ 全体と部分，事実と意見との関係に注意して，話したり聞き取ったりすること。

エ 話合いの話題や方向をとらえて的確に話したり，それぞれの発言を注意して聞いたりして，自分の考えをまとめること。

- ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「A話すこと・聞くこと」の評価規準】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活における話題について関心をもち，自分の考えを進んで話そうとしたり相手の話を的確に聞き取るうとしたりするとともに，話し言葉を大切にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対する自分の考えや気持ちを分かりやすく話している。 ・話し手の意図を考えて話の内容を聞き取っている。 ・自分の考えや気持ちを伝えるのにふさわしい話題を選び出し，取り上げている。 ・全体と部分との関係，事実と意見との関係に注意して，話したり聞いたりしている。 ・話合いの話題や方向をとらえて，的確に話したり聞いたりしている。 ・相手の考えと比較して，自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す速度や音量，言葉の調子や間のとり方などに注意して話したり聞いたりしている。 ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりするとともに，事象や行為などを表す多様な語句について理解している。 ・話の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて話したり聞いたりしている。 ・単語の類別について理解し，指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して話したり聞いたりしている。 ・書き言葉とは違う話し言葉の特色や役割を理解し，適切に話したり聞いたりしている。

【「A話すこと・聞くこと」の評価規準の具体例】

国語への関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・話合いをするとき，話題や方向をとらえて発言しようとしたり，相手の発言を注意して聞き取るうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・調べたことなどを発表するとき，内容を相手に的確に伝えるとともに，自分の考えを明確に話したり，相手の話を的確に聞き取ったりしている。 ・自己紹介などのスピーチをするとき，家族や友達から聞いた話などを交えて，聞き手に自分の考えや気持ちが正確に伝わるように工夫をしている。 ・意見などを発表するとき，聞き手に正確に伝わるように話の組立てを工夫している。 ・グループなどで話し合うとき，「何のために，何について話し合っているのか。」を的確にとらえ，友達の考えと比較して，自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介などのスピーチをするとき，話す速度や音量，アクセントやプロミネンスなどの言葉の調子や間のとり方，身振りや表情などの効果に注意して話したり聞いたりしている。 ・話合いをするとき，語句の意味を文脈に応じて理解したり使ったりしている。 ・説明をするとき，具体的な事実を述べる段落や中心的内容を述べる段落の役割や文の接続関係などを考えて話したり聞いたりしている。 ・対話をするとき，指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句に注意して話したり聞いたりしている。 ・スピーチをするとき，話し言葉が相手や場面の状況などに依存することを理解して話したり聞いたりしている。

(2) 「B書くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 書くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 身近な生活や学習の中から課題を見つけ、材料を集め、自分の考えをまとめること。
- イ 伝えたい事実や事柄、課題及び自分の考えや気持ちを明確にすること。
- ウ 自分の考えや気持ちを的確に表すために、適切な材料を選ぶこと。
- エ 書いた文章を読み返し、表記や語句の用法、叙述の仕方などを確かめて、読みやすく分かりやすい文章にすること。
- オ 書いた文章を互いに読み合い、題材のとらえ方や材料の集め方などについて自分の表現の参考にすること。
 - ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「B書くこと」の評価規準】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活から必要な材料を集めて、自分の考えをまとめようとしたり、進んで書き表そうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活や学習の中から課題を見つけている。 ・課題に関する材料を集め、それを基にして自分の考えをまとめている。 ・伝えたい事実や事柄、課題、自分の考えや気持ちを明確にしている。 ・自分の考えや気持ちを的確に表すために、広い範囲から適切な材料を選んでいる。 ・書いた文章を読み返して、読みやすく分かりやすい文章にしている。 ・互いの文章を読み、題材のとらえ方や材料の集め方などについて相互に学び合って、自分の表現の参考にしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して書き、事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに、語彙に関心をもっている。 ・文章の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて書いている。 ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して書いている。 ・話し言葉とは違う書き言葉の特色や役割を理解し、適切に書いている。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち900字程度の漢字を書き、文や文章の中で使っている。 <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・字形を整え、文字の大きさ、配列・配置に気を付けて書いている。 ・漢字の楷書とそれに調和した仮名に注意して書き、漢字の行書の基礎的な書き方を理解して書いている。

【「B書くこと」の評価規準の具体例】

国語への関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・意見発表のための文章を書くとき、他の人の文章を読み、題材のとらえ方や材料の集め方などを自分の表現の参考にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・日常生活で直接体験したことをはじめ、友達や家族から聞いたこと、テレビ、新聞・雑誌、コンピュータや情報通信ネットワークなどの様々な情報手段を通して得たことの中から課題を見つけ、材料を集め、自分の考えをまとめている。 ・説明や記録などの文章を書くとき、相手や目的、場面などに応じて、取り上げた事実や事柄、課題について、メモやカードを活用して整理するとともに、どれが重要であるか判断し、自分の考 	<ul style="list-style-type: none"> ・説明のための文章を書くとき、事象や行為などを表す語句を文脈に応じて使っている。 ・意見発表のための文章を書くとき、問題を提示する段落と意見を述べる段落との関係などを考えている。 ・記録のための文章を書くとき、自立語や付属語、指示語や接続詞などを、単語の類別や働きを理解して使っている。 ・報告のための文章を書くとき、多様な読者に対応できる十分な文脈を構成しているという書き言葉の特色や役割を理解している。

	<p>えや気持ちを明確にしている。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手意識，目的意識を明確にし，身近な生活の中での体験や見聞をはじめとして，広い範囲から材料を集め，客観性・妥当性のある材料を選んでいる。 ・表記，漢字と仮名の使い分け，語句の使い方などが適切であり，文や段落の長さ及び文や段落の接続の関係，全体と部分との関係などを整えて書いている。 ・インタビューや調査・見学など，友達の題材のとらえ方や材料の集め方などについて学び，自分の表現の参考にしている。 	<p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち900字程度の漢字を書き，文や文章の中で使っている。 <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノートやメモをとるとき，毛筆書写における楷書や行書の学習を踏まえて，字形や文字の大きさ，全体の調和などに気を付けて書いている。
--	--	---

(3) 「C読むこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 読むこと的能力を育成するため，次の事項について指導する。

ア 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ，理解すること。

イ 文章の展開に即して内容をとりえ，目的や必要に応じて要約すること。

ウ 文章の中心の部分と付加的な部分，事実と意見などを読み分けて，文章の構成や展開を正確にとらえ，内容の理解に役立てること。

エ 文章の展開を確かめながら主題を考えたり要旨をとらえたりすること。

オ 文章に表れているものの見方や考え方を理解し，自分のものの見方や考え方を広くすること。

カ 様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けること。

- ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「C読むこと」の評価規準】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館等を活用するなど，様々な種類の文章に応じた読み方をして内容を的確に理解しようとするとともに，進んで読書に親しみものの見方や考え方を広げようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文脈の中における語句の意味を正確にとらえ，理解している。 ・ 書き手の考えの進め方や説明，説得の仕方など文章の展開に即して内容をとりえている。 ・ 目的や必要に応じて要約している。 ・ 文章の中心の部分と付加的な部分，事実と意見とを読み分けている。 ・ 文章の構成や展開を正確にとらえ，内容の理解に役立てている。 ・ 文章の展開を確かめて，主題を考えたり要旨をとらえたりしている。 ・ 文章に表れているものの見方や考え方を理解し，自分のものの見方や考え方を広くしている。 ・ 様々な種類の文章から必要な情報を集めるための読み方を身に付けている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して読み，事象や行為などを表す多様な語句について理解を深めるとともに，語彙に関心をもっている。 ・ 文章の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて読んでいる。 ・ 単語の類別について理解し，指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意して読んでいる。 ・ 話し言葉とは違う書き言葉の特色や役割を理解して読んでいる。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学年別漢字配当表に示された漢字に加え，その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。

【「C読むこと」の評価規準の具体例】

国語への関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要な情報を集め 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 当該語句の一般的な意味を踏まえて， 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 文章を読むとき，事象や行為などを表す語彙

<p>るために、学校図書館等を活用するなどして、進んで様々な種類の文章から抜き書きしたり要約したりしようとしている。</p>	<p>文脈の中で具体的、個別的な意味をとらえている。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読んで、書き手の考えの進め方や説明、説得の仕方など論述の過程に注意して内容を理解している。 主題を考えたり、要旨を支える論理の筋道を明らかにしたりして内容を理解している。 文章を読み、段落ごとの内容や段落相互の関係を正確にとらえて内容を理解している。 文章の叙述に即し主題について豊かに考えたり、目的に応じて段落相互の関係や論の展開をおさえて要旨を正確に理解したりしている。 文章の記述に即して書き手のものの見方や考え方をとらえるとともに、自分のものの見方や考え方を広くしている。 様々な文章を比較して読んだり、調べるために読んだりするとき、例えば、書物の表題や目次を読んで必要としている情報などがあるかどうか判断して読んでいる。 	<p>を理解している。</p> <ul style="list-style-type: none"> 文章を読むとき、段落を構成する各文の役割、接続関係、構造などを考えている。 文章を読むとき、指示語や接続詞の働きやこれらと同じような働きをする語句に注意している。 文章を読むとき、多様な読者を想定して書かれている書き言葉の特色や役割に気を付けている。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学年別漢字配当表に示された漢字に加え、その他の常用漢字のうち250字程度から300字程度までの漢字を読んでいる。
--	--	---

第2学年及び第3学年

1 学年目標

- (1) 自分のものの見方や考え方を深め、目的や場面に応じた的確に話したり聞いたりする能力を身に付けさせるとともに、話し言葉を豊かにしようとする態度を育てる。
- (2) 様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにして、論理的に書き表す能力を身に付けさせるとともに、文章を書くことによって生活を豊かにしようとする態度を育てる。
- (3) 目的や意図に応じて文章を読み、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する能力を身に付けさせるとともに、読書を生活に役立て自己を向上させようとする態度を育てる。

2 第2学年及び第3学年の評価の観点の趣旨

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	書く能力	読む能力	言語についての 知識・理解・技能
<p>国語に対する関心を深め、進んで話し合ったり工夫して書いたり、読書したりして、生活を向上させようとする。</p>	<p>自分のものの見方や考え方を深めて、目的や場面に応じ、説得力のある表現の仕方に注意して話したり聞き取ったりする。</p>	<p>様々な材料を基にして自分の考えを深め、自分の立場を明らかにし、論理の展開を工夫して、説得力のある文章を書く。</p>	<p>目的や意図に応じて文章を読み、書き手の論理の展開の仕方をとらえて内容の理解に役立て、自分の意見をもつとともに、広い範囲から情報を集め、効果的に活用する。</p>	<p>音声、語句、語彙、文法、漢字などの国語に関する基礎的な事項や国語の特質について理解し、知識を身に付け、日常の言語活動を振り返り言葉のきまりについて気付く。書写では、楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解し、字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮し、読みやすく速く書く。</p>

3 学習指導要領の内容、内容のまとめりごとの評価規準及びその具体例

(1) 「A話すこと・聞くこと」

【学習指導要領の内容】

(1) 話すこと・聞くこと的能力を育成するため、次の事項について指導する。

- ア 広い範囲から話題を求め、話したり聞いたりして、自分のものの見方や考え方を広めたり、深めたりすること。
- イ 話の中心の部分と付加的な部分、事実と意見との関係に注意し、話の論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりすること。
- ウ 話の内容や意図に応じた適切な語句の選択、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりすること。
- エ 相手の立場や考えを尊重し、話合いが目的に沿って効果的に展開するように話したり聞き分けたりして、自分の考えを深めること。
 - ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「A話すこと・聞くこと」の評価規準】

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲から話題を求め、表現を工夫して話そうとしたり相手の立場や考えを尊重して的確に聞き取るうとしたりするとともに、話し言葉を豊かにし言語生活を向上させようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲から話題をとらえて話している。 ・ 話し手のものの見方や考え方をとらえて、自分のものの見方や考え方を広めたり深めたりしている。 ・ 話の中心の部分と付加的な部分との関係に注意して、話したり聞き取ったりしている。 ・ 事実と意見との関係に注意し、論理的な構成や展開を考えて、話したり聞き取ったりしている。 ・ 話の内容に応じ、適切な語句を選択して、話したり聞き取ったりしている。 ・ 話の意図に応じ、文の効果的な使い方など説得力のある表現の仕方に注意して、話したり聞き取ったりしている。 ・ 相手の立場や考えを尊重し、目的や場面に応じて、話したり聞き分けたりしている。 ・ 互いの共通点や相違点などを聞き分け、自分の考えを広めたり深めたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 音声の働きや仕組みに関心をもち、話したり聞いたりして理解を深めている。 ・ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して話したり聞いたりしている。 ・ 抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 相手や目的に応じて話の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応、組立てなどについて考えたりして話したり聞いたりしている。 ・ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して話したり聞いたりしている。 ・ 共通語や方言の果たす役割などについて理解して話したり聞いたりするとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に話したり聞いたりしている。

【「A話すこと・聞くこと」の評価規準の具体例】

国語への 関心・意欲・態度	話す・聞く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 話合いをするとき、自分の考えを伝えるために工夫して表現しようとして、相手の立場や考えを尊重して聞き取るうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースなどを紹介するとき、テレビ、新聞・雑誌などから必要な情報を集め、自分なりの認識を広めたり深めたりしている。 ・ ディベートなどの討論をするとき、自分の意見とその根拠となる事実とを効果的に組み合わせる説得力のある話し方をしたり、話の構成や論理の展開に注意して聞き取ったりしている。 ・ インタビューなどの対話をするとき、相手や場面などに応じ適切な語句や文を使い分けて話したり、聞き取ったり 	<ul style="list-style-type: none"> ・ ニュースを紹介する活動などを通し、伝達機能をもった音声の働きや母音と子音、リズム、アクセントなどの仕組みに関して体系的に理解している。 ・ 討論をするとき、説得力のある表現にかかわる対義語、慣用句、類義語などの使い方に注意している。 ・ 説明をするとき、多様な表現様式や展開、文の成分の順序などについて考えながら話したり聞いたりしている。 ・ インタビューなどの対話をするとき、助詞や助動詞などの働きに注意してい

	している。 ・パネルディスカッションなどの話し合いをするとき、自分と異なる意見を聞いて、自分の考えを広めたり深めたりしている。	る。 ・スピーチなどをするとき、共通語や方言を場に応じて使い分けている。 ・対話をするとき、敬語に対する認識に基づいて、相手や場面に応じた適切な使い分けをしている。
--	--	--

(2) 「B書くこと」

【学習指導要領の内容】

- (1) 書くことの能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 広い範囲から課題を見付け、必要な材料を集め、自分のものの見方や考え方を深めること。
 - イ 自分の立場及び伝えたい事実や事柄を明確にすること。
 - ウ 文章の形態に応じて適切な構成を工夫すること。
 - エ 自分の意見が相手に効果的に伝わるように、根拠を明らかにし、論理の展開を工夫して書くこと。
 - オ 書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章にすること。
 - カ 書いた文章を互いに読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方などについて自分の表現に役立てること。
- ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「B書くこと」の評価規準】

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲から必要な材料を集め、立場や伝えたい事柄を明確にし、相手に効果的に伝わるように表現を工夫するとともに、書くことにより自らの生活を振り返って生活を豊かにしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 広い範囲から課題を見付けている。 ・ 必要な材料を集め、それを基に自分のものの見方や考え方を深めている。 ・ 課題に対する自分の立場、伝えたい事実や事柄を明確にしている。 ・ 文章の形態に応じて、書き出しや中心部分の展開など適切な構成を工夫している。 ・ 自分の意見の基となる根拠を明らかにしている。 ・ 文章の内容が相手に効果的に伝わるように論理の展開を工夫している。 ・ 自分の書いた文章を読み返し、文や文章を整えて、説得力のある文章を書いている。 ・ 互いの文章を読み合い、論理の展開の仕方や材料の活用の仕方など様々な観点から相互に検討し、自分の表現に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して書き、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 ・ 相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の成分の順序や照応、組立てなどを考えたりして書いている。 ・ 単語の活用について理解し、助詞や助動詞などの働きに注意して書いている。 ・ 共通語と方言の果たす役割などについて理解して書くとともに、敬語についての理解を深め生活の中で適切に使っている。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち、第2学年では950字程度、第3学年ではその全てを書き、文や文章の中で使っている。 <p>[書写]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 字形、文字の大きさ、配列・配置などに配慮して書いている。 ・ 目的や必要に応じて調和よく書き、漢字の楷書や行書とそれらに調和した仮名の書き方を理解して書くとともに、読みやすく速く書いている。

【「B 書くこと」の評価規準の具体例】

国語への 関心・意欲・態度	書く能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 意見発表のための文章を書くとき、他の人の文章を読み、論理の展開や材料の活用の仕方などについて、積極的に自分の表現の参考にしようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 社会生活全般に目を広げ、自然、社会、人間、文化などにかかわる様々な課題について、関連する資料を基に自分のものの見方や考え方を深めている。 コンピュータによる情報の検索や学校図書館・地域の図書館等を利用して収集した材料を整理し、理解し、判断している。 自分の立場を明確にして、相手や目的、場面などに応じ、伝えたい事実や事柄を明確にしている。 手紙などの通信文において、相手や目的、伝えたい内容の中心や自分の考えなどを明確にするとともに、書き出しや中心部分の展開などを工夫している。 意見発表のために簡潔で分かりやすい文章や資料などを作成するとき、自分の意見とそれを裏付ける適切な材料を示している。 論理の展開に際し、論点を明確にし、文章の内容を整理して、読み手に分かりやすい文章構成となるよう記述している。 自分の書いた文章の段落の設け方、段落相互の関係、論点と論拠の関係などについて検討し、説得力のある文章にしている。 結論に導くための根拠や理由の取り上げ方や述べ方、材料の活用の仕方などの観点から互いの書いた文章を吟味し合い、自分の表現に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 説明のための文章を書くとき、自分の立場や考えを明確にし説得力のある表現にするために、対義語や慣用句、類義語などを適切に使っている。 語句に注意して書くことを通して、語感を磨いている。 意見発表のための文章を書くとき、多様な表現様式や文脈上の展開、文の成分の順序などについて考えている。 記録のための文章を書くとき、単語の活用や助詞や助動詞の働きなどに注意している。 手紙を書くとき、敬語に対する認識を深め相手に応じて適切に使っている。 <p>【漢字】</p> <ul style="list-style-type: none"> 小学校学年別漢字配当表に示された漢字のうち、第2学年では950字程度、第3学年ではその全てを書き、文や文章の中で使っている。 <p>【書写】</p> <ul style="list-style-type: none"> 手紙を書くとき、筆記するペンや便箋などの用具や字体、字形などを工夫して、読みやすい文字を正しく整えて速く書いている。 毛筆書写の学習が硬筆書写の基礎を養うことを認識し、積極的に他の学習や生活に役立てている。

(3) 「C 読むこと」

【学習指導要領】

- (1) 読むことのできる能力を育成するため、次の事項について指導する。
- ア 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てること。
 - イ 書き手の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容の理解や自分の表現に役立てること。
 - ウ 表現の仕方や文章の特徴に注意して読むこと。
 - エ 文章を読んで人間、社会、自然などについて考え、自分の意見をもつこと。
 - オ 目的をもって様々な文章を読み、必要な情報を集めて自分の表現に役立てること。
 - ・ 関連する〔言語事項〕を含む。

【「C 読むこと」の評価規準】

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 学校図書館等を積極的に活用するなど、様々な文章から目的や意図に応じて情報を集めようとするとともに、読書を生活に 	<ul style="list-style-type: none"> 文脈の中における語句の効果的な使い方について理解し、自分の言葉の使い方に役立てている。 文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、内容を理解している。 文章の論理の展開の仕方を的確にとらえ、自分の表現に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 慣用句、類義語と対義語、同音異義語や多義的な意味を表す語句の意味や用法に注意して読み、抽象的な概念などを表す多様な語句についての理解を深め、語感を磨き語彙を豊かにしている。 相手や目的に応じて文章の形態や展開に違いがあることに気付いたり、文の

<p>役立て自己を豊かにしようとしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> 文章の構成や展開，説明や描写などの表現の仕方や，文体など文章の特徴に注意して読んでいる。 文章を読んで人間，社会，自然などについて考え，自分の意見をもてるようになる。 目的をもって様々な文章を読み，必要な情報を集めている。 集めた情報を自分の表現に役立てている。 	<p>成分の順序や照応などについて考えたりして読んでいる。</p> <ul style="list-style-type: none"> 単語の活用について理解し，助詞や助動詞などの働きに注意して読んでいる。 共通語と方言の果たす役割などについて理解して読むとともに，敬語についての理解を深め文章中の敬語の使い方を理解している。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2学年では，第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読み，第3学年では第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。
---------------------------	--	--

【「C読むこと」の評価規準の具体例】

国語への 関心・意欲・態度	読む能力	言語についての知識・理解・技能
<ul style="list-style-type: none"> 必要な情報を集めるために読むとき，学校図書館等を積極的に活用しようとしたり，目的や意図に応じて様々な種類の文章を詳しく読み比較しようとしている。 	<ul style="list-style-type: none"> 語句の辞書的な意味と文脈上の意味とに注意し，語句の的確で効果的な使い方について理解して，自分の言葉の使い方に役立てている。 文章を読み，書き手の個性的な説明の仕方や説得の方法などをとらえ，「話すこと・聞くこと」や「書くこと」に役立てている。 音読や朗読などを通して，構成や展開，説明や描写，比喩など文章の叙述の仕方に注意しながら読んでいる。 文章を読んで書き手の思考や心情に迫り，人間，社会，自然などに対する自分の感想や意見をもてるようになる。 ある事柄についてもっと深く知るためや，文章やスピーチなどの形で発表するために材料を集めている。 集めた情報を取捨選択したり，加工したり，引用箇所や挿入部分を検討したりするなどして自分の表現に役立てている。 	<ul style="list-style-type: none"> 音読や朗読を通して，語感を磨いている。 文章を読むとき，抽象的な概念などを表す語彙を豊かにしている。 様々な文章を比較して読むとき，表現様式や文章の展開，文の成分の順序などを考えている。 文章を読むとき，関係を表す助詞や判断などを表す助動詞などの活用や働きに注意している。 文章を読むとき，会話などにおける共通語や方言，敬語の適切な使い分けに気を付けて読んでいる。 <p>[漢字]</p> <ul style="list-style-type: none"> 第2学年では，第1学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字のうち300字程度から350字程度までの漢字を読み，第3学年では第2学年までに学習した常用漢字に加え，その他の常用漢字の大体を読んでいる。

第3 単元の評価に関する事例

ここでは、第一学年の「A 話すこと・聞くこと」において、生徒による自己評価・相互評価（資料2）及び指導者による評価表（資料3）に工夫がなされている事例「はじめまして ～自己紹介のスピーチ～」を紹介する。

なお本事例は、「ア 国語への関心・意欲・態度」の「単元の評価規準」は一つであるが、「イ 話す・聞く能力」の「単元の評価規準」は三つ、「ウ 言語についての知識・理解・技能」の「単元の評価規準」は二つあるため、各観点別には学習状況を総括せずに、「学習活動における具体的評価規準」ごとに評価を行った例である。

第1学年 4月

単元名 「はじめまして ～自己紹介のスピーチ～」(4時間)

1 単元の目標

- (1)話す速度や言葉遣いなど話し方に注意して、聞き手に分かりやすく伝わる工夫をする。
- (2)聞き手と話し手とが交流することによって、伝え合う力を高める。
- (3)聞き手に自分の気持ちを理解してもらえるような話題を選ぶ。

2 単元の評価規準

【A「話すこと・聞くこと」】

	ア 国語への関心・意欲・態度	イ 話す・聞く能力	ウ 言語についての知識・理解・技能
内容のまとめりごとの評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な生活における話題について関心をもち、自分の考えを進んで話そうとしたり相手の話を的確に聞き取るうとしたりするとともに、話し言葉を大切にしようとしてい る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対する自分の考えや気持ちを分かりやすく話している。 ・話し手の意図を考えて話の内容を聞き取っている。 ・自分の考えや気持ちを伝えるのにふさわしい話題を選び出し、取り上げている。 ・全体と部分との関係、事実と意見との関係に注意して、話したり聞いたりしている。 ・話合いの話題や方向をとらえて、的確に話したり聞いたりしている。 ・相手の考えと比較して、自分の考えをまとめている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意して話したり聞いたりしている。 ・語句の辞書的な意味と文脈上の意味との関係に注意して話したり聞いたりするとともに、事象や行為などを表す多様な語句について理解している。 ・話の中の段落の役割や段落内の各文の接続関係などを考えて話したり聞いたりしている。 ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して話したり聞いたりしている。 ・書き言葉とは違う話し言葉の特色や役割を理解し、適切に話したり聞いたりしている。
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えを進んで話そうとしたり、相手の話を的確に聞き取るうとしたりしている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・物事に対する自分の考えや気持ちを分かりやすく話している。 ・話し手の意図を考えて話の内容を聞き取っている。 ・自分の考えや気持ちを伝えるのにふさわしい話題を選び出し、取り上げている。 	<ul style="list-style-type: none"> ・話す速度や音量、言葉の調子や間のとり方などに注意して話したり聞いたりしている。 ・単語の類別について理解し、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをする語句などに注意して話したり聞いたりしている。
学習活動体におお評価規準	<p>自分のことを知ってもらうために、工夫して話そうとしたり、相手のことを知るために注意して聞き取るうとしたりして</p>	<p>自己紹介を行う目的を理解し、自分が伝えたいことを明確にしている。 自分のことを知ってもらうために、聞き手が興味をもてるような話題を取り上げている。 話し手の考えや気持ちを聞き取り、もっと詳しく知りたいことを質問しようとしている。</p>	<p>分かりやすく伝えるために、速度やプロミネンス、間、身振り、表情などに注意している。 話し手の考えや気持ちを聞き取るために、指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意している。</p>

	いる。	
--	-----	--

3 指導と評価の計画

時間	ねらい 学習活動	学習活動における具体的評価規準との関連	評価方法等
1	ねらい ・単元等の目標を知り，自己紹介の目的や意義，方法などについて理解する。 ・聞き手を意識した自己紹介を行うための構想を練る。 学習活動 ・自己紹介の目的や意義について考え，方法を知る。 ・効果的な自己紹介の構想を練る。	イ ア	観察（態度） ワークシート （構想表） ノート
2	ねらい ・話し手と聞き手とが伝え合うことの大切さを知る。 ・友達の発表の良い点を学ぶ。 学習活動 ・自己紹介を行う(1) ・質問したり，工夫している点を話し合ったりする。	アイウ	観察（発言・発表、態度） 自己評価 相互評価
3	ねらい ・話し手と聞き手とが伝え合うことの大切さを知る。 ・友達の発表の良い点を学ぶ。 学習活動 ・自己紹介を行う(2) ・質問したり，工夫している点を話し合ったりする。		
4	ねらい ・話し手と聞き手とが伝え合うことの大切さを知る。 ・友達の発表の良い点を学ぶ。 学習活動 ・自己紹介を行う(3) ・質問したり，工夫している点を話し合ったりする。 ねらい ・単元等のまとめをする。 学習活動 ・学習を振り返り，まとめをする。		

「評価方法等」欄の「自己評価・相互評価」を行う際には，資料1を用いた。

4 観点別評価の進め方

【国語への関心・意欲・態度】

学習活動における 具体的評価規準	Aの状況を実現していると判断する際のキーワードとその具体的な姿の例 Cと評価した生徒に対する手だての例
アの 自分のことを知ってもらうために，工夫して話そうとしたり，相	積極的 話し方の工夫 雰囲気づくり ・アイデアを凝らし，自分を印象付ける工夫をして，積極的に話そうとしている。

<p>手のことを知るために注意して聞き取るうとしたりしている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・好意的にうなずいたり，メモしたり，質問したりしながら聞くようにしている。 名前だけしか言えないような生徒については，指導者の自己紹介例をあげるなどの助言をし，再度工夫して自己紹介をさせる。進歩については賞賛する。
-------------------------------------	--

【話す・聞く能力】

学習活動における 具体的評価規準		Aの状況を実現していると判断する際のキーワードとその具体的な姿の例 Cと評価した生徒に対する手だての例
イの	<p>自己紹介を行う目的を理解し，自分が伝えたいことを明確にしている。</p>	<p>目的の的確な理解 内容の明確な整理</p> <ul style="list-style-type: none"> ・なぜ自己紹介をするのかについて考え，自分が伝えたい内容をワークシートやノートなどに工夫しながらまとめている。 自己紹介が学校生活の中でどのように役立つか，その具体例を示し，理解させる。自分が伝えたいことや自分に話してほしいことなどについて，隣同士やグループ内などで話し合わせる。
イの	<p>自分のことを知ってもらうために，聞き手が興味をもてるような話題を取り上げている。</p>	<p>話題選択の的確さ 広い範囲</p> <ul style="list-style-type: none"> ・聞き手の立場を考え，聞き手の興味や関心を引きつけながら自分のことを知ってもらうために，必要な話題を広い範囲から選んでいる。 趣味や特技など，自分のことを知ってもらうための具体的な話題の例を示し，助言する。
イの	<p>話し手の考えや気持ちを聞き取り，もっと詳しく知りたいことを質問しようとしている。</p>	<p>的確な聞き取り 積極的な質問</p> <ul style="list-style-type: none"> ・話し手の表情を見ながら聞いたり，話の内容を引き出せるように相手の立場を尊重しながら積極的に質問したりしている。 話し手に質問したいことを一つ考え，目的意識をもってメモするように助言する。

【言語についての知識・理解・技能】

学習活動における 具体的評価規準		Aの状況を実現していると判断する際のキーワードとその具体的な姿の例 Cと評価した生徒に対する手だての例
ウの	<p>分かりやすく伝えるために，速度やプロミネンス，間，身振り，表情などに注意している。</p>	<p>効果的な間やプロミネンス，表情・身振り ニュアンスの違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己紹介をするときに，適切に間を取ったり，強調したい内容については声の大きさや速さなどを考えて話したり聞いたりするとともに，表情・身振りなどを効果的に活用したりしている。 何人かの友人に，文の長さや間の取り方などに注意して聞いてもらいながら繰り返し練習させるとともに，友人の話し方を文の長さや間の取り方などに注意して聞き取らせる。
ウの	<p>話し手の考えや気持ちを聞き取るために，指示語や接続詞及びこれらと同じような働きをもつ語句などに注意している。</p>	<p>指示語の内容の正確な理解 接続詞などの働きの的確な理解</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想や質問などから，話に用いられた指示語の内容や接続詞などの働きを正確に理解している。 構想表に接続詞などを書き込む学習を思い起こさせる。また，指示語や接続詞などの使い方について注意しながら友人の発表を聞かせて，自分が使う際の参考にさせる。

5 観点別評価の総括

次の事例は、「学習活動における具体的評価規準」の「国語への関心・意欲・態度」の、「話す・聞く能力」の ~ のうちの と、「言語についての知識・理解・技能」の ~ のうちの についての「評価例」を示したものである。

事例：単元ごとの評価例 第1学年「はじめまして～自己紹介のスピーチ～」（4時間）

- 主として各観点欄の で囲んだ授業時間において、表中の評価規準・評価方法を用いた評価を行う。
- 評価規準に照らして時間ごとの評価（a, b, c）を行う。
 （「a」：十分満足できると判断されるもの 「b」：おおむね満足できると判断されるもの 「c」：努力を要すると判断されるもの）
 一単位時間で全員を評価できない場合は、単元に配当した時間内で全員を評価できるよう、何人かずつ計画的に評価するようにする。
 学習状況に変化が認められたら、その都度、評価を加えていく。
- 時間ごとの評価を総括して、単元の評価（ABC）をする。
 （「A」：十分満足できると判断されるもの 「B」：おおむね満足できると判断されるもの 「C」：努力を要すると判断されるもの）
 各授業時間における観点別評価を総括して、当該単元における評価を行う際には、本事例では、「a」が過半数であれば「A」、「c」が過半数であれば「C」とし、それ以外は「B」とした。また、「a,b,c」のように「a」と「c」とがある場合には、「a」と「c」の中間値をとるようにし、「a,b,c」の場合は、「B」とした。
 「話す・聞く能力」の欄のように指導事項を二つ取り上げた（評価規準が二つある）場合は、本事例のように各指導事項ごとに（各評価規準ごとに）評価を行う場合と、単元として一つにまとめて評価する場合とが考えられる。また、単元としてまとめる際には、各指導事項（各評価規準）のいずれかに重点を置いて評価する場合といずれにも重点を置かないで評価する場合等とが考えられる。

評価の観点	ア 国語への関心・意欲・態度			イ 話す・聞く能力						ウ 言語についての知識・理解・技能										
	学習活動における具体的評価規準			ワークシート（構想表）ノート			ワークシート（構想表）ノート			観察・発言・発表			観察・発言・発表			観察・発言・発表				
氏名	時間	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	1	2	3	
1		a	a	a	A	a	a	a	A	a	a	a	A	a	a	a	A	a	a	A
2		b	a	a	A	b	a	a	A	a	a	a	A	b	a	a	A	b	a	B
3		c	b	a	B	a	a	b	A	b	a	a	A	a	a	a	A	a	a	A
4		b	b	a	B	b	b	b	B	b	a	b	B	a	b	b	B	a	b	B
5		c	b	b	B	c	a	b	B	c	b	b	B	b	b	b	B	b	b	B
6		b	c	c	C	c	b	b	B	a	a	b	A	a	a	b	A	a	a	A
7		a	c	b	B	c	c	c	C	b	c	c	C	c	c	c	C	c	c	C

この他にも、単元における観点別評価の総括については様々な考え方や方法があり、各学校において工夫することが望まれる。

資料 1 : 自己評価・相互評価表の例

- (1) 同一の表で、話し手や聞き手が自分自身の話し方や聞き方を評価する自己評価と、聞き手が話し手の話し方を評価する相互評価ができるよう配慮した(ゴシック部分)。
- (2) 本表では、6つの「学習活動における具体的評価規準」(ア・イ・ウ)のうち、ウを除く5つについて評価を行っている。
- (3) この表に示した評価規準の文言は、生徒の立場で書いた表現である。
- (4) 表中の3段階評価は、3が良くできている状況 2がだいたい良い状況 1がは不十分な状況を示している。
- (5) 表中、「意欲」は「国語への関心・意欲・態度」を、「言語」は「言語についての知識・理解・技能」を示している。

(自己評価表として用いた場合：
話し手が自己評価した例)

(自己評価表として用いた場合：
聞き手が自己評価した例)

自己紹介スピーチ評価表			
評価対象(A子) <input checked="" type="checkbox"/> 話し手 <input type="checkbox"/> 聞き手			
評価者 (A子)			
意欲	話す	工夫して話していたか 2 1
	聞く	熱心に聞いていたか	3 2 1
話す・聞く能力	話す	伝えたいことがはっきりしていたか 2 1
	話す	興味のもてるような話題であったか	3 1
	聞く	内容をよく聞いて、知りたいことを質問しようとしたか	3 2 1
言語	話す	話す速度や間のとり方、表情などに注意していたか 2 1
ひとこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ みんなの表情を見ながら、落ち着いて話すことができた。 ・ もう少しおもしろい話題を選んで話せばよかった。 		

自己紹介スピーチ評価表			
評価対象(A子): <input type="checkbox"/> 話し手 <input checked="" type="checkbox"/> 聞き手			
評価者 (A子)			
意欲	話す	工夫して話していたか	3 2 1
	聞く	熱心に聞いていたか 2 1
話す・聞く能力	話す	伝えたいことがはっきりしていたか	3 2 1
	話す	興味のもてるような話題であったか	3 2 1
	聞く	内容をよく聞いて、知りたいことを質問しようとしたか	3 1
言語	話す	話す速度や間のとり方、表情などに注意していたか 2 1
ひとこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問したいことはあったが、うまくまとまらなかった。 ・ みんなのスピーチを一生懸命聞くことができてよかった。 		

(相互評価表として用いた場合(1))

(相互評価表として用いた場合(2))

自己紹介スピーチ評価表			
評価対象(A子) <input checked="" type="checkbox"/> 話し手 <input type="checkbox"/> 聞き手			
評価者 (B子)			
意欲	話す	工夫して話していたか 2 1
	聞く	熱心に聞いていたか	3 2 1
能力	話す	伝えたいことがはっきりしていたか 2 1
	話す	興味のもてるような話題であったか	3 1
	聞く	内容をよく聞いて、知りたいことを質問しようとしたか	3 2 1
言語	話す	話す速度や間のとり方、表情などに注意していたか	3 1
ひとこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ A子さんの言いたいことがとてもよく分かった。 ・ もう少しゆっくりと話すと分かりやすかった。 		

自己紹介スピーチ評価表			
評価対象(A子) <input type="checkbox"/> 話し手 <input checked="" type="checkbox"/> 聞き手			
評価者 (C男)			
意欲	話す	工夫して話していたか 2 1
	聞く	熱心に聞いていたか	3 2 1
能力	話す	伝えたいことがはっきりしていたか	3 1
	話す	興味のもてるような話題であったか	3 1
	聞く	内容をよく聞いて、知りたいことを質問しようとしたか	3 2 1
言語	話す	話す速度や間のとり方、表情などに注意していたか 2 1
ひとこと	<ul style="list-style-type: none"> ・ 内容がたくさんだったので、もう少ししぼった方がよかった。 ・ ちょうど良い速さで話していたので、よく分かった。 		